

基準点測量において達成 見込みの不確かさ

TS機器検定：第1回研究会資料4

GNSS機器検定：第1回研究会資料6

TS野外実験：第2回研究会資料2

GNSS野外実験（単点観測）：第4回研究会参考資料1

5秒読み2級トータルステーション

• 測角部

- 水平角観測の1夾角0.5対回の不確かさ：3.5秒
（3台の機器を用いた野外実験の標準偏差に基づく）
 - 1視準当たりの不確かさ：2.5秒
 - 1対回平均値の不確かさ：2.5秒
- 高度角観測の1対回の不確かさ：5秒未満
（585台の機器を用いた機器検定の高度定数からの推定）

• 測距部

- 距離観測の1測定の不確かさ：1.3mm
（951台の機器を用いた機器検定のRMSEに基づく）
- 距離観測の1測定の不確かさ：0.8mm
（3台の機器を用いた野外実験の標準偏差に基づく）

1級GNSS測量機

- 2周波スタティック法
 - 水平成分 σ (dN), σ (dE) \doteq 6mm、鉛直成分 σ (dU) \doteq 23mm
(4055台の機器を用いた機器検定の標準偏差に基づく。基準値との差異が小さいため、RMSEでもほぼ等しい値となる)
- Network型RTK-GNSS法
 - 基線観測：水平成分 σ (dN), σ (dE) \doteq 5mm、鉛直成分 σ (dU) \doteq 11mm
(1685台の機器を用いた機器検定のうち比較基線場 (180m) における観測の標準偏差に基づく。基準値との差異が小さいため、RMSEでもほぼ等しい値となる)
 - 単点観測：水平成分RMSE(dN) \leq 20mm, RMSE(dE) \leq 50mm, RMSE(dU) \leq 74mm
(全国5か所【北海道、東北、つくば、関西、九州の各支部】、3配信事業者【ジェノバ、日本テラサット、日本GPSデータサービス】のデータを用いた野外観測のRMSEに基づく。)